

2016（平成28）年度事業計画

社会福祉法人横浜いのちの電話は、2016年度もその原点「いつでも、だれでも、どこからでも」に立ち、ボランティアによる自殺予防を中心とした眠らぬ電話相談活動を継続していきます。いのちを大切にす市民（ボランティア）運動として、その輪を広げていきます。

横浜いのちの電話基本理念にもとづき、次のとおり実施します。

電話相談事業 ≪電話の即時性をもって匿名を確保し、寄り添う≫

1. 24時間、年中無休の日本語電話相談活動を継続する。
2. 日本語電話相談のうち、専門的援助を必要とするかけ手を対象に、専門相談（心理・法律）を継続する。
3. スペイン語、ポルトガル語を母国語とするかけ手を対象に外国語電話相談活動（スペイン語・ポルトガル語）を継続する。

電話相談員の養成とスキル向上 ≪ひとりの人間「私」であることを大切にする≫

1. 電話相談員を育成するために電話相談員養成研修（1年間）を実施し、適性者を認定する。
2. 電話相談員のスキルの向上の研修を実施する。
 - (1) 日本語相談
 - ① 専門家による個人スーパービジョン（全員年1回必修）
 - ② 地区別グループ研修
 - ③ 全体研修会
 - (2) 外国語相談
 - ① グループスーパービジョン
 - ② 日本語相談研修への参加と交流
 - ③ 県下の外国語相談機関と研修の共有や情報交換
3. 研修担当者養成研修を実施し、研修担当者を育成する。

ボランティアの募集 ≪自発的に参加するボランティアによって支えられている≫

1. 日本語電話相談員、外国語電話相談員及び事業支援ボランティアを募集する。
2. 日本語電話相談については24時間体制を維持するために、また外国語相談の継続のために、マスメディア、各自治体及び他機関の協力を得る。

個人・法人の自覚と責任を持ち、運動体として活動する

1. 広報活動
 - (1) 広報誌「横浜いのちの電話」を発行する（5月・11月）。
 - (2) わかりやすい「事業報告」書を作成し、発行する（7月）。
 - (3) ホームページを常に更新し、充実させる。
 - (4) パンフレット、カード等の配布資料を作成し、有効に活用する。
 - (5) 外国語電話相談を必要とする人たちへの広報活動及び支援者の輪を広げる。
 - ① 各種雑誌への掲載や、ホームページを用いて広報活動を積極的に行う。
 - ② 国際交流協会及び外国人援助団体などとの連携を深める。
2. 事業支援者の確保
 - (1) 維持会員・賛助会員の継続及び新規会員の加入に努める。
 - (2) 法人・団体の維持会員の新規加入に努める。
 - (3) 寄附金の拡大を図るため、寄附者に対する税額控除制度（国及び県）対象法人としての認可取得をめざす。
 - (4) ライオンズクラブ、ロータリークラブ、及び諸団体との連携を深め、協力を依頼する。
3. 事業支援委員会活動として、バザー、コンサート及び映画会などの実施。
4. 社会福祉法人としてのコンプライアンスと適正運営の強化

県・市等行政及び他機関との連携 <社会との協働>

1. 日本いのちの電話連盟及び加盟電話センターと連携、協力する。
 - (1) 2016年度厚生労働省補助事業による自殺予防活動の一環として、毎月10日に実施される連盟主催の自殺予防フリーダイヤルへ継続参加する。
 - (2) いのちの電話相談員全国研修会に参加する。9月15日～17日:奈良
 - (3) 研修、広報活動など加盟電話センターと連携、協力をする。
2. 毎年9月10日の「世界自殺予防デー」に合わせ、かながわ自殺対策会議メンバー及びJR関係者と共に、横浜駅にてカード配布のPR活動を実施する。
3. 神奈川県下の川崎いのちの電話と連携を深める。
4. かながわ自殺対策会議、よこはま自殺対策ネットワーク協議会、相模原市自殺対策会議のメンバーとして、神奈川県・横浜市・相模原市・他の市町村及び関連機関との連携を深め、自殺防止活動に参画し、寄与する。
5. 相模原市からの自殺予防専門電話相談“いきる”ホットラインの委託事業を継続する。
6. エイズ文化フォーラムinよこはまに組織員として参加する。

2016年度 予算書

2016年度 資金収支予算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算	
事業活動による収支	収	バザー事業収入	2,850,000
		催し物事業収入	3,350,000
		寄付金収入	6,500,000
		経常経費補助金収入	8,000,000
		研修事業収入	2,100,000
		委託事業収入	1,020,000
		雑収入	10,000
		受取利息配当金収入	80,000
	事業活動収入計 (1)		23,910,000
	支	人件費支出	11,590,000
事業費支出		9,672,000	
事務費支出		2,988,000	
事業活動支出計 (2)		24,250,000	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		△ 340,000	
施設整備等による収支	収	施設整備等補助金収入	960,000
		施設整備等収入計 (4)	
	支	固定資産取得支出	1,284,903
		施設整備等支出計 (5)	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 324,903	
その他の活動による収支	収	事業区分間繰入金収入	2,000,000
		積立資産取崩収入	724,903
		その他の活動による収入計 (7)	
	支	事業区分間繰入金支出	2,000,000
		その他の活動支出計 (8)	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		724,903
予備費支出 (10)		50,000	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		10,000	
前期末支払資金残高 (12)		3,811,085	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		3,821,085	